

『第二創業期』（=2025年～）

～「一本道のルール」を壊し、『強靱で多様性のある社会』を創る～

「幸運な時代」終焉と「雇用制度」の崩壊へ

- ◆「先行モデルを目指すキャッチアップ型／高度成長／人口拡大」という「幸運な条件」はすべて失われた。——そして、これらを前提とした「日本型雇用制度」が崩壊しようとしている

あらゆる世代が抱えている閉塞感と将来不安

- ◆「若手世代」は一企業に身を預ける滅私奉公的な働き方に疑問を持ち、「子育て世代」は思うような働き方ができない。「中高年世代」は役割を失って意気消沈。「リタイア世代」は社会の居場所を失い、人生の終盤で“長生きリスク”（=要医療・要介助）に直面している

必要なのは「新たな国家戦略」の構想と実行

- ◆「少子化／高齢化」（=現役の縮小×高齢者の高齢化）という非常事態、および『AI／人生100年』の時代に対処する「グランドデザイン」（=国家戦略とその実現方法）を構想し、今すぐに一歩踏み出さないと、国民の閉塞感も将来不安も消えない

「少子化／高齢化」対策の難しさ

- ◆「少子化」は改善（=出生率の向上：現在1.20）の可能性はあると思うが、たとえこれから増やせても労働力になるまでには20年もの歳月が掛かる
- ◆一方の「高齢化」（=生きる期間の長期化：人生100年の時代へ）は止めようがない

「打つべき有効策」は2つである

- ① 「中高年 & 女性」の奮起・活躍
→ 中高年がより長く働く。女性がもっと社会に出る
- ② 「社会全体の生産性」の圧倒的向上
→ 能力ある大手企業の“余剰”と言われる中高年社員が「人材不足／成長分野／エッセンシャルワーク／長く働ける」企業へ大胆に移動する

※ “余剰社員”と言われて、黙ってはいけない！『時代観』と『矜持』を持って外に羽ばき、底力を発揮すれば「社会全体の最適な人材配置 & 生産性向上」を実現できる。→ そうすると、『第二創業期』の礎を築いていける

『時代観』
&
『矜持』